

For Art Collectors

For
Art
Collectors

望月 久 写真展

FOREST・森 Mochizuki Hisashi Exhibition

会期：2017年11月1日(水)～12月4日(月)

会場：箱根写真美術館 1F展示室

時間：10:00-17:00 (最終入場) 休館日：毎週火曜日

入館料：大人500円 小学生以下300円 未就学児童 無料 ※作品購入者は入館料無料



「FOREST・森」より © Hisashi Mochizuki

厳しく美しい日本の森、自然の神秘を捉えたモノクロームの世界

【展覧会概要】

森の写真家・望月 久の作品展「FOREST・森」を開催いたします。

望月氏は白川義員氏の助手を務めた後、フリーランスカメラマンとして世界各国の名勝や山岳、自然風景を中心に撮影、60カ国以上を取材してきました。

本展では、望月氏がライフワークとして40年以上にわたって撮影する八幡平の森、原生林、樹氷、雪原、厳しく逞しい自然美を捉えたシリーズ「FOREST・森」を展示します。

中国をはじめ、国内外で高く評価される望月氏の作品は、幻想的で力強く、厳冬期の山を真に知るもののみが得ることのできる貴重な写真群です。

展示作品は、全て本人によるリミテッドエディション（限定数）のデジタルプリントとなり、希望者は購入可能です。

【展示点数】 約15点 (予定)

PRESS RELEASE

Hakone museum of photography

今から40年前、真冬の八幡平山頂の避難小屋にこもり、じっと晴れるのを待って撮影した記憶が昨日のように思い出します。撮影地は日本の東北地方の岩手県と青森県にあります。

私が長年撮影を続けている森はブナの原生林に覆われ季節を通じて美しい風景を作り出します。一見変化のない森ですが既に40数年間、この森を撮り続けると多くの発見があります。老木の周りでは、若い時に落とした種から新しい幼木が育っています。育ちきれない幼木は自然と淘汰されていきます。ここは自分を見つめ返す事ができる私の大事な森です。

真冬になると小屋が浮くほどの強風と吹雪が連日続きます。二週間も続いた吹雪でイヤになったころ、東の空が朝日で真っ赤に染まり始めました。あの時の感動に勝るものはその後人生ではありません。又、一ヶ月間の滞在後、ほとんど色のない白一色の世界から下山した時に見た道路のセンターラインに引かれた黄色の色にとっても感激した記憶も強烈に心に残っています。

山頂の遙か彼方まで広がる樹氷の造形や日出前の蒼い樹氷の頭上の輝いていた残月は、あたかも違う惑星に來たようなロマンと夢を与えてくれました。

樹氷は日本の限られた場所ではできません。冬の日本海からの湿気を含んだ北西の季節風と雪、低温度の微妙な関係の中でアオモリトドマツの木だけに形成されます。

最近は気象変化の影響かフォトジェニックな大きな樹氷を見る事ができませんが、今も吹雪の中、40年前のあの感動を感じたい一心で重い荷物を背負い深い雪の中を山頂に向かっていきます。

望月 久

【作家紹介】

望月 久 (もちづき ひさし)

北京国際研修学院客員教授・安徽省師範大学客員教授

◎略歴

- 1946年 東京生まれ。写真家白川義員氏の助手を経てフリー。
- 1998,2005年 山岳雑誌「山と渓谷」の表紙撮影。
全日空機内誌「翼の王国」週刊文春など多くの雑誌を中心に撮影、特に「野菜はどこから来たか？」をテーマにした週刊文春連載の「野菜のルーツ」では野菜の野生種を求めて6年間で60カ国を取材。日本政府環境省富山県中部山岳国立公園黒部川樺平ビジターセンター、岩手県十和田八幡平国立公園網張ビジターセンターの大型ディスプレイ用写真撮影のため、延べ2年間両地域を撮影。
- 2004年 北京故宮での紫禁城国際写真展に中国及び外国人著名写真家と共に招待参加。
北京市対外交流部の依頼で2007年、北京オリンピックの写真集「オリンピックの街・北京」の撮影で世界の10人の写真家の一人として参加。
- 2008年 北京故宮神武門と東京フォーラムにおいて両国30数名による日中写真交流展を主宰。
- 2008年 キヤノンカレンダー撮影担当。
- 2010年8月 東京銀座 日中写真家二人展開催。
- 2010年 キヤノン中国カレンダー撮影担当。
- 2011年9月 中国三大写真コンテストの一つ、中国撮影家協会主催・麗水中国国際写真コンテスト審査委員。
- 2011年11月 上海キヤノンギャラリー個展「私眼中的中国・日本」開催。
- 2012年1月 広州キヤノンギャラリー個展「私眼中的中国・日本」開催。
- 2012年12月 ユニバーサルカラーギャラリー個展「イーハトーブの風景」
- 2016年6月 外国特派員協会個展 「FOREST/森」

キヤノン中国の要請で中国全土の自然風景の撮影と同時に2007年からNPO法人日中写真文化交流協会主催で開始した日中相互理解促進を図る為、日本と中国の各地で写真による交流事業を実施中。

◎主な写真展

「樹氷原」東京ニコンサロン、「黒部峡谷」銀座富士フォトサロン、「黒伏高原の四季」山形県庁舎、「八幡平・安比高原の四季」銀座キヤノンギャラリー、品川キヤノンSタワーギャラリー、「森蔵」東京台場ギャラリー21、以下中国内での個展 タイトル「我眼中的中国」北京・泰吉軒画廊、湖北省宣昌市、上海キヤノンギャラリー、広州キヤノンギャラリー及び北京中日青年交流中心・橋画廊の6カ所で開催

◎共著 「愛しき山河」歌人福島泰樹氏と現代短歌と自然写真とのコラボレーション

◎公式web-site : <http://hmochizuki.com>

PRESS RELEASE

Hakone museum of photography



「FOREST・森」より © Hisashi Mochizuki
全作品 サイズ：455×300mm, ED 15,
ブックマット付 販売予定価格 ¥75,000 (税・送料別)



【関連イベント】

写真家 望月久 来場

ギャラリートーク&レセプションパーティー

2017年11月12日(日) 15:00~17:30

一般：1D付¥1000 (事前申込・当日受付可)

For
Art
Collectors

新企画

For Art Collectors アートを愛する全ての人へ

【取り組み紹介】

当館は美術館として所蔵コレクション展を開催するほか、アートギャラリー機能を有しております。

「フォー・アートコレクターズ」では、作家蔵作品を展示し、希望者は作品をご購入いただけます。

アートを愛する人々がお気に入りの作品と出会い作家と交流できるサロンを目指すとともに、アーティストは作品を販売することでより良い作品を生み出すことができる、アートの循環活動を推進するプロジェクトです。

許可番号：神奈川県公安委員会許可 第452700012772号 (美術品商)

【会場／問合せ先】

箱根写真美術館 神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-432 電話 0460-82-2717 FAX: 0460-82-2717

URL <http://www.hmop.com> e-mail info@hmop.com

開館時間：10:00-17:00 (最終入場、閉館は17:30頃) 入館料：大人500円／小中学生300円 ※未就学児童無料

休館日：火曜休館 (祝日を除く) 同時開催：遠藤桂「富士山」シリーズ (販売可能作品を展示)

PRESS RELEASE

Hakone museum of photography